

労災事故は依然増加しています。

☆死傷災害は+7.0%も増加しています。

☆死亡災害が1年5か月ぶりに発生してしまいました。【10月2日】



用語の説明は
支部ホームページ参照!

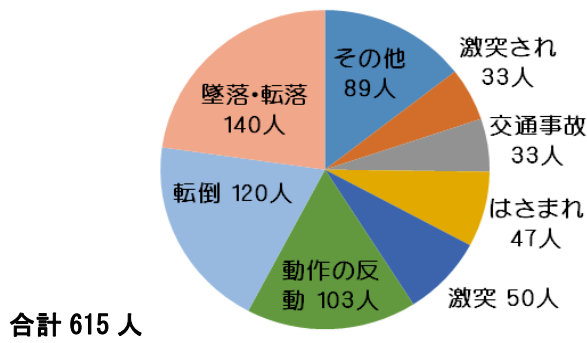
神奈川県労働局の集計によると、平成30年9月末(1月1日から9月30日)における県内の陸運業の労働災害発生は平成29年同期と比較し次のとおりとなっています。

- ◇ 死傷災害は陸上貨物取扱業で減少(-6.6%)しましたが、道路貨物運送業は大幅増加(+10.6%)
- ◇ 死亡災害は 道路貨物運送業の運転者が、ロールボックスパレットの下敷きで亡くなりました。

1. 概況 (神奈川県内) 陸上貨物運送事業全体 (道路貨物運送業+陸上貨物取扱業)・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動 (腰痛等)	転倒	はさまれ・ 巻き込まれ	激突	激突され	交通事故	その他	合計
発生件数	140	103	120	47	50	33	33	89	615
対前年増減	0	-7	+24	+9	+7	-7	0	+14	+40
同上増減率	0.0%	-6.4%	+25.0%	+23.7%	-17.5%	-30.4%	0.0%	+18.7%	+7.0%

陸上貨物運送業全体



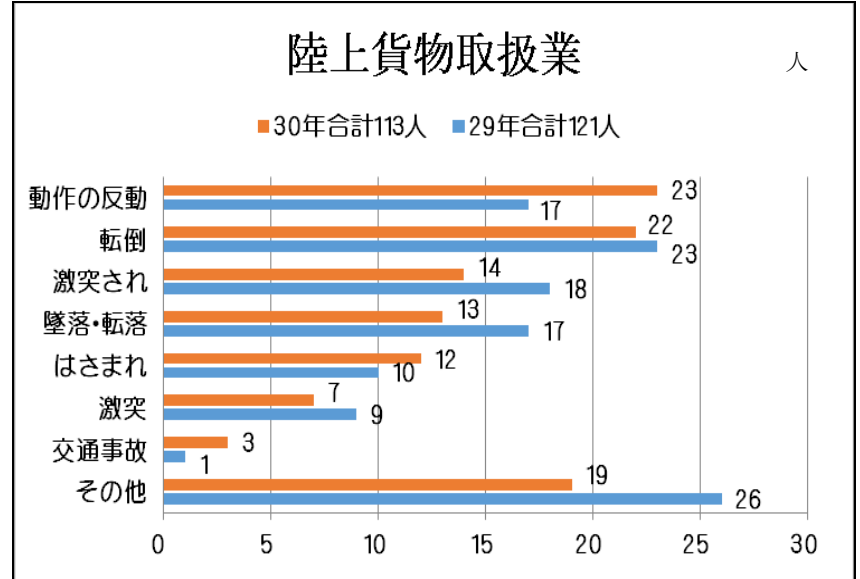
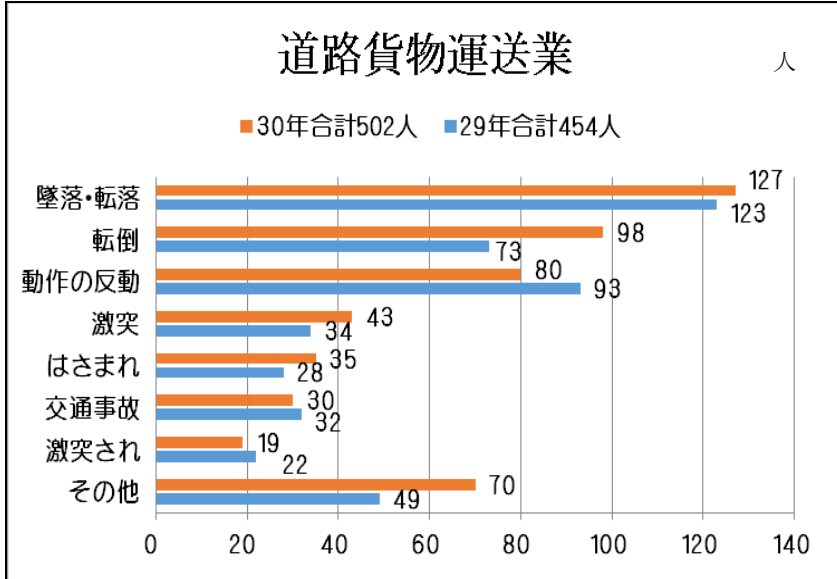
厚労省 H30 年下半期 労災防止対策の要請事項

- ① 荷主、配送先、元請事業者等と連携できるように「荷役ガイドライン」に基づく対策を徹底する。
- ② 転倒防止対策の徹底
※冬季の転倒予防対策の実施 ※高齢労働者(特に女性労働者)
- ③ 腰痛予防対策の実施
- ④ 交通労働災害防止対策の実施

基本操作・行動の励行

◎ 厚労省から【下半期の労災防止対策の推進要請】が発出されています。
※荷役ガイドラインに基づく対策の徹底 ※転倒、腰痛予防対策の実施
労災事故撲滅のためのあらゆる対策を講じましょう。

2. 各業種の概要



- ☆1 昨年に比べ 10.6%(+48名)と大幅増加し 502人となった。
- ☆2 転倒災害が 34.2%(+25名)と大幅に増加。
- ☆3 墜落災害が全体の 25.3%で労災事故の4分の1以上です。

- ※1 昨年に比べ-6.6%(-6名)減少している。
- ※2 動作の反動(腰痛等)が 35.3%(+6名)と大幅に増加。
- ※3 墜落・転落、激突、激突されが-20%以上減少している。

3. 死亡災害発生概要 (陸上貨物運送事業関係)【10月2日発生分の速報】

陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	年月日 曜日 時刻	事業の種別 労働者数 職種	起因物 事故の型	発生概要
1	横須賀市	30.10.2 (火) 5時頃	道路貨物 運送業 50~99名 運転者	人力運搬機 崩壊・倒壊	一人でローボックスパレット(以下カゴ車、重さ約600kg・荷はカタログ)をトラック後部のテールゲートリフターを使って降ろす作業中、昇降板から転落したカゴ車の下敷きになった

平成30年 署別・業種別労働災害発生状況（1月から9月・速報値）
（労働者死傷病報告及び死亡災害速報による）

陸災防神奈川県支部
平成30年9月末現在
神奈川労働局発表

署	業種	製造業	建設業	陸上貨物運送事業			小売業	社会福祉施設	飲食店	その他 (左記以外)	合計	前年比 (休業)	(人)
				死傷者数	対前年 増減率	全産業に 占める割合							(率)
横浜南	本年	43 (0)	62 (0)	63 (0)	14.5%	13.1%	70 (2)	39 (0)	22 (0)	181 (1)	480 (3)	47	
	前年	66 (1)	44 (1)	55 (0)	-8.3%	12.7%	54 (1)	29 (0)	27 (0)	158 (2)	433 (5)	10.9%	
鶴見	本年	26 (0)	10 (0)	34 (0)	-12.8%	23.9%	14 (0)	9 (0)	3 (0)	46 (0)	142 (0)	-7	
	前年	32 (0)	16 (0)	39 (1)	-2.5%	26.2%	9 (0)	5 (0)	5 (0)	43 (1)	149 (2)	-4.7%	
川崎南	本年	52 (1)	33 (1)	86 (0)	38.7%	27.2%	26 (0)	10 (0)	16 (0)	93 (3)	316 (5)	53	
	前年	53 (0)	36 (1)	62 (0)	1.6%	23.6%	16 (0)	11 (0)	10 (0)	75 (2)	263 (3)	20.2%	
川崎北	本年	31 (1)	40 (0)	28 (0)	16.7%	9.5%	38 (0)	37 (0)	20 (0)	101 (1)	295 (2)	25	
	前年	30 (0)	48 (0)	24 (1)	-7.7%	8.9%	47 (1)	34 (0)	23 (0)	64 (0)	270 (2)	9.3%	
横須賀	本年	36 (1)	43 (0)	12 (0)	-36.8%	4.6%	32 (0)	28 (0)	16 (0)	92 (1)	259 (2)	14	
	前年	27 (1)	35 (0)	19 (0)	18.8%	7.8%	20 (0)	40 (0)	17 (0)	87 (0)	245 (1)	5.7%	
横浜北	本年	56 (1)	60 (2)	64 (0)	4.9%	10.7%	96 (0)	56 (0)	41 (0)	226 (2)	599 (5)	50	
	前年	69 (0)	67 (0)	61 (0)	-17.6%	11.1%	86 (0)	60 (0)	37 (0)	169 (2)	549 (2)	9.1%	
平塚	本年	70 (0)	33 (0)	47 (0)	67.9%	13.9%	41 (0)	26 (0)	18 (0)	102 (0)	337 (0)	70	
	前年	57 (2)	26 (0)	28 (0)	0.0%	10.5%	43 (0)	22 (0)	16 (0)	75 (1)	267 (3)	26.2%	
藤沢	本年	63 (0)	42 (1)	36 (0)	-12.2%	10.2%	62 (0)	32 (0)	22 (0)	96 (0)	353 (1)	6	
	前年	56 (0)	38 (0)	41 (0)	20.6%	11.8%	59 (0)	23 (0)	23 (0)	107 (0)	347 (0)	1.7%	
小田原	本年	30 (0)	16 (0)	15 (0)	-28.6%	7.1%	29 (0)	15 (0)	9 (0)	96 (0)	210 (0)	1	
	前年	32 (0)	23 (0)	21 (0)	23.5%	10.0%	22 (0)	7 (0)	6 (0)	98 (0)	209 (0)	0.5%	
厚木	本年	134 (0)	43 (0)	124 (0)	-11.4%	21.1%	65 (0)	23 (0)	16 (0)	184 (0)	589 (0)	-59	
	前年	128 (1)	47 (2)	140 (0)	44.3%	21.6%	72 (0)	36 (0)	34 (0)	191 (1)	648 (4)	-9.1%	
相模原	本年	95 (0)	43 (1)	58 (0)	34.9%	15.0%	47 (0)	25 (0)	17 (0)	102 (3)	387 (4)	72	
	前年	75 (0)	31 (0)	43 (1)	-44.2%	13.7%	36 (0)	24 (0)	20 (0)	86 (0)	315 (1)	22.9%	
横浜西	本年	28 (1)	36 (1)	48 (0)	14.3%	12.9%	58 (1)	60 (0)	19 (0)	123 (0)	372 (3)	7	
	前年	28 (0)	63 (0)	42 (0)	10.5%	11.5%	40 (0)	56 (0)	20 (0)	116 (1)	365 (1)	1.9%	
合計		664 (5)	461 (6)	615 (0)	7.0%	14.2%	578 (3)	360 (0)	219 (0)	1,442 (11)	4,339 (25)	279	
前年同期		653 (5)	474 (4)	575 (3)	1.2%	14.2%	504 (2)	347 (0)	238 (0)	1,269 (10)	4,060 (24)	6.9%	
前年比 (休業)	(人)	11	-13	40			74	13	-19	173	279		
	(率)	1.7%	-2.7%	7.0%			14.7%	3.7%	-8.0%	13.6%	6.9%		

注1) 休業4日以上の死傷者数（データは労働者死傷病報告による）、（）内は、死亡者数で内数（データは死亡災害速報による）
注2) 「陸上貨物運送事業」は、「道路貨物運送事業」と「陸上貨物取扱業」の合計である。

注: 本集計は神奈川労働局のデータを陸災防神奈川県支部で集計、加筆したものです。